

奇跡の生還 タイの洞窟・救出チームの 指揮官として — 救出劇の全貌 —

平成30年

11月26日(月) 13:30~16:30
(受付 12:30)

大阪国際交流センター 大ホール

大阪市天王寺区上本町 8-2-6

定員

1000名 入場無料

【申込期日: 平成30年11月12日(月)】

今年の6月、FIFAワールドカップで世界中が盛り上がっている最中に起きた、タイの洞窟に閉じ込められたサッカーチームの少年とコーチ計13名がダイバーにより無事に助け出された奇跡。

実は、あの救出劇には明らかにされていない事実がいくつもある。また、現地では、実際に実施された救出策と並行して、日本を含む世界中の地盤・地質工学、探査技術、リモートセンシング等の技術を駆使した救出作戦が遂行されていた。その作戦の遂行に当たり、総責任者の前チェンライ県知事を補佐し、実質的にテクニカルグループの指揮をとったスティサック博士（現タイ王立地盤工学会会長、タイ国立カセート大学准教授）の貢献は多大なものであった。

今回、スティサック博士をお招きし、救出劇の裏側や試行錯誤しながらとった判断等をご披露いただき、危機に直面したときの指揮者としての心構えを学ぶ機会と共に、日本の最新技術を使った、救出への貢献についても併せて報告するものである。

プログラム

13:30 来賓挨拶

13:40 基調講演「奇跡の生還 タイの洞窟・救出チームの指揮官として—救出劇の全貌—」

タイ王立地盤工学会 会長／タイ国立カセート大学 准教授 Suttisak Soralump 博士
※同時通訳あり

15:00 パネルディスカッション

コーディネーター

京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 教授

大津 宏康 氏

パネラー

タイ王立地盤工学会 会長／タイ国立カセート大学 准教授 Suttisak Soralump 博士
※同時通訳あり

国土交通省 近畿地方整備局 局長

黒川 純一良 氏

元 国土地理院長／現 (一財)河川情報センター 業務執行理事

越智 繁雄 氏

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授

阪本 真由美 氏

16:30 閉会